



第44回 十和田市民文化祭

市民文化祭
シンボルマーク

会場 市民文化センター

問 スポーツ・生涯学習課文化係 ☎@2313

11/2→4

土 月



舞台部門

月日	時間	事業名	会場
11/2(土)	9:30~10:00	オープニング セレモニー	文化センター 玄関前
	10:00~15:30	舞と躍動	大ホール
	15:30~15:50	演劇	
	15:50~16:00	舞と躍動	
11/3(日)	9:30~15:00	市民茶会	
	13:00~15:00	洋楽・邦楽の 調べ	大ホール
11/4(月)	10:00~11:30	吟詠	邦舞邦楽場
	14:00~16:00	謡と仕舞	
	13:30~17:00	管弦楽・吹奏 楽	大ホール

市内外で活動する文化団体などが日ごろの活動の成果を発表します。皆さま、是非お越しください！

展示部門

月日	時間	事業名	会場
11/2(土) ↓ 11/4(月)	10:00~17:00 ※最終日は 16:00まで	手工芸展	視聴覚ホール 視聴覚ホール入り口 展示展示ホール エントランスホール 大ホール2階入り口
		蘭展	
		文芸展	
		盆栽展	
		いけ花展	
		陶芸展	
		自然界展	
		美術展	
		水墨画展	
		書道展	
写真展			

とわだの文化財 10 ~十和田市の文化財を紹介するコーナーです 問 スポーツ・生涯学習課 ☎@2313

ひやくしょういっ き いれい ひ 「百姓一揆の慰霊碑」

大沢田集落を一望できる高台にある宮本喜代一宅地に、今から268年前に発生した百姓一揆の犠牲者となった指導者を慰霊する石碑が建立されている。



碑文 銘

寒應受清信 □
活應道氣信 □
文化三 寅 八月 造
六十二年

願主 佐藤巳之

陸奥の国は古代から名馬の産地であった。南部藩では、領内各地に藩営牧場を開設していたが、増産のため享保九年（一七二四年）、立崎嘉右衛門、七右衛門兄弟の知行地、立崎と八斗沢の七十石を取り上げ藩営牧場を開設することになった。代替地として藩直轄地、大沢田の四十四・五石を与え、更に諸役と年貢を免除した。

二十一年後の延享二年（一七四五年）、嘉右衛門兄弟の知行地にされた大沢田集落の百姓たちは藩直轄を望み盛岡へ直訴の行動に出た。一揆衆四十八人は各番所を押し通り盛岡を目指したが、沼宮内で七戸代官所の役人に追いつかれ連れ戻された。藩の重大事件のため、盛岡御町奉行・織笠庄助の裁きを受け、発頭人の三七と民部の二人は打ち首獄門となる。二人に積極的に協力した鴨助は岩手・沢内村に追放となった。外の四十五人は謹慎することを条件に入牢を免ずる裁きを受ける。

また、嘉右衛門兄弟は知行地を取り上げられ、七戸代官・野辺地忠左衛門は閉門を命じられたが、間もなく嘉右衛門兄弟は大沢田の知行地回復、忠左衛門も前職に復帰する。

大沢田集落の人たちは世を憚り、事件発生六十二年目にして犠牲者となった二人の供養碑を建立し現存も慰霊祭を行っている。

（文責：市文化財保護協会）